

市議会だより きたあきた

ごにゅうえん
おめでとう

No. 48

平成28年5月1日発行

3月定例会

- 本定例会の審議 2～3
賛成・反対討論
- 常任委員会の審査報告 4～5
- 一般質問 6～10
- 第1回市議会全員協議会 10
- 議案等表決状況 11
- 第1回臨時会 12
- 請願・陳情／内陸線議員連盟 13
- 市民の声／人事案件 14

昨年につき、民間への運営移管！
元気いっぱい地域の子育て拠点に

～ 鷹巣東保育園 入園式 ～

平成28年度一般会計予算

244億9265万4千円を原案可決



前年度比
2,269,365千円増
(10.2%増)

平成28年北秋田市議会3月定例会は、3月8日（火）から22日（火）までの15日間の会期で行われました。

今定例会では、条例案18件、予算案38件、陳情6件など77件の議案が提案され、陳情3件を除く74議案が原案のとおり、それぞれ可決、採択されました。

また、人事案件として、教育委員会委員の任命、固定資産評価審査委員の選任、人権擁護委員候補者の推薦の3件が追加提案され、それぞれ同意されました。

▼今定例会の主な議案

- 公民館条例の一部改正
- 介護予防・地域支え合い事業利用負担金徴収条例一部改正
- 家族介護慰労金支給に関する条例の全部改正
- 森吉山環境保全管理基金条例の廃止
- 森林総合利用施設条例一部改正
- 平成28年度一般会計予算
- 平成28年度各特別会計予算
- 平成27年度一般会計補正予算

3.11東日本大震災のご冥福を祈り黙祷を捧げました

今年度に本格化する大型継続事業を計上

平成28年度一般会計予算案は、歳入と歳出それぞれ244億9265万4千円とするものです。

歳出の主なもの、昨年度から3力年事業で実施しているクリーン・リサイクルセンター建設事業29億9366万6千円、市営住宅南鷹巣団地建替事業3億3707万9千円に加えて、統合後の鷹

巣小学校放課後児童クラブ建設事業1億4866万6千円が予算措置されました。

今年度からの新たな取り組みとしては、公共施設の更新・統廃合・長寿命化などを計画的に推進するための「公共施設等総合管理計画」を策定することとしました。

また、人口減少対策として、移住体験住宅整備を始めとする移住定住促進事業が実施されます。

観光振興の広域連携へ「DMO」を形成

本市が目指す滞留型観光に向けた振興策については、北秋田市・大館市・小坂町の3市町において「地域連携DMO」を形成することになり、官民が一体となってそれぞれの特徴を引き出した観光地づくりを推進すること、国内はもとより海外からの誘客の強化に努め、さらなる交流人口

の増加を図っていくこととなります。

多くの議案等で賛否 最終日は活発な議論

最終日の本会議は、14の議案や陳情で賛否が分かれ、起立採決が行われました。討論は累計登壇者が30名となり、活発な議論が展開されました。中でも、平成28年度一般会計予算案では4名の議員による討論が行われ、起立採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

また、追加で提案された人事案件はページ上段の概要説明に記載済ですが、それぞれ同意されました。

最後に、各常任委員会と議会運営委員会から発議案が出され、所管事務調査が承認されました。なお、討論の主な内容については、次ページのとおりです。



賛成・反対討論

※発言順に掲載しています
(P11を)参照ください

議案第33号

反対討論 福岡由巳議員

公民館条例は社会教育法が根幹であり当市の条例はその規定に反している。

陳情第34号

賛成討論 板垣 淳議員

政府は集団的自衛権行使はできないと言ってきた。突然変えたのは許されない。

反対討論 佐藤光子議員

安法制は抑止力を強め紛争を未然に防ぐ。積極的な国際貢献も可能になる。

賛成討論 山田博康議員

戦後平和が維持できたのは憲法のおかげ。自衛隊は十分な防衛力を持っている。

反対討論 武田浩人議員

自衛隊の海外での活動は武力行使であってはならず後方支援活動に限定される。

賛成討論 福岡由巳議員

憲法第9条が禁じている

年金受給者の実態を踏まえ利用料金は据え置くべき。

されてきた。国の政策の抜本的な改革を求める。

今年度予算にも反映された。

議案第22号

反対討論 久留嶋範子議員

事業費を大幅に減額しており福祉の充実に逆行する。

反対討論 武田浩人議員

マクロスライドは制度維持のため必要。国は基礎年金に年間3億負担している。

陳情第36号

反対討論 黒澤芳彦議員

負担の多い介護職の現場の状況をよく理解し採択を。

賛成討論 武田浩人議員

家族介護慰労の本来の趣旨をよく理解いただきたい。改正により対象者が増える。

反対討論 福岡由巳議員

減額で家族介護の充実に努める内容になっていない。

賛成討論 板垣 淳議員

昨年12月の陳情は採択済。不採択の理由はない。増税で福祉向上にはならない。

反対討論 板垣 淳議員

市長は公約違反。借金である起債額は前年より増え、これでは認められない。

議案第55号

反対討論 福岡由巳議員

医師確保が進んでおらず、赤字補填を解消するためにも計画の練り直しを求める。

反対討論 武田浩人議員

今後さらに医療・介護の充実を求めるには財源を消費税増税に期待するしかない。

賛成討論 大森光信議員

必要な施設整備で起債は増えるが有利な起債を活用し財政の健全性は保たれる。

反対討論 三浦倫美議員

赤字補填が続く解消には医師確保が必要。関連予算が計上されていない。

賛成討論 福岡由巳議員

陳情項目は全て緊急に解決しなければならぬ。

反対討論 福岡由巳議員

大型建設事業が加わった程度で目新しい政策がない。

陳情第35号

賛成討論 久留嶋範子議員

この種の陳情は毎回採択

反対討論 武田浩人議員

国は介護離職ゼロを目指し取り組みを始めている。

賛成討論 黒澤芳彦議員

必要な公共インフラ整備と宿泊関連事業など思いが強く感じ取れる予算だ。

産業建設

クウインス森吉は
4月から直営に

当委員会に付託された案件は、条例案4件、予算案11件、単行議案5件、陳情3件の計23件でした。

平成28年度北秋田市一般会計予算（所管分）については、農林課関係で、委員から「飼料用米作付拡大緊急対策事業による作付拡大の見込みと、主食用米の転換や飼料用米の新たな受け入れにより、カントリーエレベーターの稼働に対する影響については」との質疑がありました。当局からは「両JAに対しての助成と

なるが、JA鷹巣町管内で200ha、JAあきた北央管内で250haの拡大を見込んでいます。また、カントリーエレベーターの影響については、一部から利用率の低下が懸念されているが、飼料用米は別施設での処理を行っており、管内の生産量からしても、現行の処理能力でカバーできるものと考えている」との答弁がありました。

商工観光課関係では、クウインス森吉の今後の運営に関して、委員から「現在の職員の待遇や、当面の食堂部門の営業休止の理由については」との質疑があり、当局からは「今後の指定管理者には、現在の職員の確保という項目が指定管理の条項の中にあるため、選定に際しての条件としたい。また、食堂の休止については、なるべく早期に市内から指定管理者を決定して、営業を再開したい」との答弁がありました。

都市計画課、上下水道課関係では、料金の滞納者に関して、委員から「中には生活困窮者等に該当する場合もあるため、福祉・医療分野の担当者も交えたチームワークで取り組んでほしい」との意見がありました。

統合簡易水道
完成後も同料金

また、森吉・合川地区統合簡易水道事業に関して、委員から「事業の完了時期と供用開始後の水道料金については」との質疑があり、当局からは「平成28年度完了する予定で事業は進んでいる。水道料金については、現在の試算段階では、現状のまま推移できるものと考えている」との答弁がありました。

審査の結果、当委員会に付託された案件で、平成28年度一般会計予算（所管分）は賛成多数で可決。その他の予算案、条例案、単行議案については、いずれ

も全て全会一致で可決すべきものと決しました。陳情3件については、1件を不採択、2件を全会一致で採択すべきものとし、意見書を提出するものと決しました。

（委員長 庄司憲三郎）



4月から市直営の「クウインス森吉」

総務文教

28年度一般会計等可決

当委員会に付託された案件は、条例案6件、予算案17件、単行議案2件、陳情3件（うち継続審査陳情1件）の計28件でした。

平成28年度北秋田市一般

会計予算（所管分）については、選挙管理委員会関係で、委員から「18歳からの選挙権に関わることで何か考えているか」、また「期日前投票所に関してはどの

ように考えているか」との質疑がありました。当局からは「既に3月1日号の市広報で一部関係情報を掲載しており、今後18、19歳の方がおられる世帯向けに選挙権を放棄しない旨の周知や、各窓口等でもその体制を整える予定である」、また、期日前投票所に関しては「県から地元高校に設置可

能かとの照会があったが、不特定多数の出入りがあることから快い返事がもらえず、また、近隣に本庁舎やいとくショッピングセンターの期日前投票所があるため、現時点では地元高校には設置しない方向である」との答弁がありました。

結果にあたり、委員から「ここ数年、大型建設事業ラッシュで大規模な予算が続いている。28年度もクリン・リサイクルセンター建て替えなど、大型事業の予算が計上され、その全てに反対するわけではないが、教育費・小中学校管理費の工事請負費が前年度より大幅に減額されており、市民の暮らし、医療、福祉応援にお金を使うべき」との理

由から反対討論がありました。また、委員から「合併特例期間終了に伴う地方交付税の減少が続く、市税等の劇的な収入増が見込めない中、有利な起債を用いることで財政指数にも悪影響しないことが確認できた。不測の事態に備える必要はあるものの、当該年度予算執行後も本市財政の健全化

は保たれるものと考え、地方創生を進める骨太予算に期待し賛同する」との賛成討論がありました。採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

公民館条例 一部改正可決

北秋田市公民館条例の一

部を改正する条例の制定については、委員から「条文第3条中の当該公民館の事業内容等を手直しすれば、何とか条文が成り立つ感じだが、手直しの考えもないようだし、きちんと整理して再度提案すべきではないか」との反対討論がありました。審査の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべ

きものと決しました。その他の付託された議案については、全て全会一致で可決すべきものと決し、陳情3件のうち、2件は採択と不採択、継続審査陳情は趣旨採択することと決しました。

(委員長 佐藤 重光)



条例一部改正の「中央公民館」

市民福祉

利用者負担金を改正

当委員会に付託された案件は、条例案8件、予算案14件、陳情3件(うち継続審査陳情2件)の計25件でした。

北秋田市介護予防・地域支え合い事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定については、委員から「現行の設定金額200円から400円の倍額増となり、少額とはいえ、利用者にとっては大変な重荷になるのでは」との質疑がありました。当局からは「平成22年に改正し、現在

まで至っているが、外出支援サービスや訪問介護と一体となった移送サービスを実施する民間事業者からは市の利用料金の見直しについて要望が出されていた。

運営協議会の中で、民間圧迫とならない金額ということで今回の提示額となったためご理解いただきたい」との答弁がありました。結審では、反対、賛成の立場からそれぞれ討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

在宅介護サービスの 適正化に

北秋田市家族介護慰労金支給に関する条例の全部を改正する条例の制定については、委員から「支給額の減額は、在宅介護福祉の低下になるのではないか」との質疑がありました。当局からは「合併前、今のよう

な充実した介護サービスがなかったときに、慰労を目的として実施していた給付制度であり、この給付を目当てに現在の介護サービスを受けることができない対象者がいた。支給額は減少するが、在宅介護サービスを受けることが可能になり、

支給対象者も増えることとなる。在宅介護の適正化に向けた措置であり、現在支給を受けている方には、2年間の経過措置を設け、順次解消していく」との答弁がありました。結審では、反対、賛成の立場からそれぞれ討論があり、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決しました。

他に、当委員会に付託された案件は、審査の結果、平成28年度一般会計予算(所管分)、平成28年度北秋田市病院事業会計予算の2件は賛成多数、その他の案件は、全て全会一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情3件については、結

(委員長 小笠原 寿)



外出支援サービス等の充実を

一般質問

一般質問は、3月10日・11日に行われ、8名の議員が登壇しました。

※掲載文は、質問者の執筆による原稿を掲載しております



各議員の質問に
答弁する津谷市長

1 指定管理者制度の改善

[P.6]

⑤ 板垣 淳 議員

- 1 公共事業にみる予算の使い方
- 2 子育て支援

[P.8]

◆一般質問とは？

1 ICTインフラの中でも災害に強く、観光振興のツールとしても有効な公衆無線LANの整備

2 ふるさと納税

[P.9]

議員が市長や教育長など市当局に対し、広く市政についての報告や説明を求めるもので、定例会ごとに行なわれます。

指定管理者制度の改善を



福岡 由巳 議員（無会派）
〔一問一答方式〕

問 昨市長は9月定例会見で、マタギの里について「手を突っ込んだ指導ができてこなかった」と話しているが、発言の真意は何か。

答 企業經理を行つて

いる指定管理者の財務状況を市行政は的確に把握し、適切な助言と対応を行いうる能力を持ち得ていなかったことを露呈した反省すべき事案と考えている。

問 マタギの里への6

千
万
円
の
貸
し
付
け、
返
済
に
あ
た
つ
て
は
平
成
28
年
度
も
市
が
損
失
補
償
の
支
援
も
行
う
と
し
て
い
る
が、
こ
れ
は
マ
タ
ギ
の
里
の
指
定
管
理
は
4
月
か
ら
も
継
続
す
る
こ
と
と
解
釈
さ
れ
る
が
そ
の
と
お
り
か

【答】 最初から予定をし

ているというようなこ
とではございません。

問 予定されていなか
れば、マタギの里は指
定管理者でなくなり、
6千万円、約1億円近
い債務超過額はめどが
立たなくなるが、それ
でも予定されていなか
ったのか。

答 選定されなければ
別の方向が考えられる
と思つてゐる。

問 今回、マタギの里は経営改善計画書をコンサルタントに依頼したが、これは企業自体が経営のノウハウを持ち合わせていない。いわゆる指定管理者に立候補する企業に値しないのではないか。

答 経営改善計画書の遂行こそが、マタギの里の存続にとって重要と考えている。

答 選定されなければ別の方向が考えられる
 と思っている。

答 経営改善計画書の遂行こそが、マタギの里の存続にとって重要と考えている。

議員：マタギの里選定は妥当か

市長：選定委判断は間違いない

問 今回、選定委員会の評価点はいずれも基準点（300点）に達

ことはあり得ない。選
定委員会の判断は間違
いないと認識している

道の駅あには299点と298点。プレゼンテーションの資料を見れば2番の団体が優れていると見えるが、なぜマタギの里か。

答 仮に点数が2点でも低い方を上位にする



今後が心配の打当温泉

中嶋 聡さんに称号を



小笠原 寿 議員(緑風・公明)
〔一問一答方式〕

問 北秋田市出身、北海道日本ハムファイターズゼネラルマネージャー特別補佐の中嶋聡さんに「名誉市民」の称号を与えては。

答 中嶋さんのようにスポーツの世界で後世に残るような記録を樹立した方々を何らかの形で顕彰することは、北秋田市としても当然に検討しなければならぬと考えるが、名誉市民の称号については、制度も含め、様々な角度から検討させていただく。

問 雪国生まれ、雪国育ちの子どもたちが、冬のスポーツを楽しむ環境を。

答 スキー離れは、子

どもに限らず大人も顕著な傾向にあり、スキー競技人口も激減している。雪国の特色を活かしたスキーは、体力向上面から大変効果的と考えているので、多方面からご意見や方策等を伺いながら考えていきたい。

問 Uターン・孫ターンを促すためにも、ふ

議員：地域おこしカードを 市長：課題はあるが検討する

問 地元経済の浮揚と市民の福祉制度の意識向上を図るため、「子育てカード」や「福祉カード」といった地域おこしポイントカードの導入を検討されている。

答 地域おこしポイントカードについては、地域振興に対する市民の関心を高めるとともに、ポイントを利用した市の各種施策への応

るさと通信の発信を行い、ふるさとサポーター制度の導入を行っている。

答 ふるさと通信は、北秋田市とのご縁を継続するための方策として、サポーター制度の導入は実のある制度にしたいと考えているので、様々な移住促進の取り組みなどを参考に、

援制度として有効な手段だと考える。検討には課題があるが、様々なニーズに応じていくためにも、構築に向けて取り組んでいく。



行政初のポイントカード
(※ 北海道 鷹栖町)

高卒まで医療費無料に



板垣 淳 議員(共産党議員団)
〔一問一答方式〕

問 子どもの医療費無料制度のうち、中学生分は市費でまかなっていたが、新年度から県が補助することになった。これによって市のお金が浮く。それも使って高校卒業まで無料にできないか。

答 県内1市2町で高校卒業まで無料にするに聞いている。当市でも今後の方向性を検討したい。

問 小・中学校入学にあたって支給している「入学準備金」を、当市では入学後の1学期末に支給している。これでは入学準備のためという本来の趣旨と異なる。入学前に支給できるように改善すべきで

答 低所得者に支給する制度であるため、所得の把握が必要であり、どうしても6月以降に

議員：安全確保予算は十分に 市長：緊急度の高いものから

問 橋の老朽化点検の結果、危険度が最も高いランク4「最悪」状態が県内9カ所で見つかり、そのうち4カ所は北秋田市だった。こんな調査が出た。道路のデコボコ改修や老朽化した学校の修繕もなかなか進まない。理由はたった一つ「予算がつかないから」。大型公共事業をやるときは借金を「有利な起債だ」といい、財政上も「大丈夫」というのに、橋や道路の安全、教育環境の整備はあつまわし。これではダメです。生活密着型事業への予算はケチらないでしっかりつけるべきだ。

なってしまう。ただ、趣旨は議員指摘のとおりなので、入学前支給に向けて可能な方法を模索したい。

答 安全に配慮した予算をしている。ただ、広大な面積であることや地方交付税が減っているため、国の補助がつくものを優先的にやってきた。今後は緊急度の高いものは市単独予算でも実施する。



子どもたちの健やかな成長を願って

受動喫煙について



佐藤 光子 議員 (みらい)
〔一問一答方式〕

問 喫煙や受動喫煙によって、人体には様々な病気や障害が起こるリスクが高まります。医療費助成や不妊治療費助成など、様々な少子化対策が実施されていますが、まずは子どもや子を望む若者たちの健康を先に考える必要があるのではないのでしょうか。

答 県全体の喫煙率が21・9%であるのに対し、大館鹿角が21・8%、北秋田が32・8%と全県でも最も高い喫煙率となっています。母子手帳交付の際に、タバコが母子に与える影響を説明しながら指導しているほか、市民の方が集まる講演会等

で啓発用品を配布し、タバコの害の周知に努めています。今後、市で見直しを行う「けんこう北秋田21計画」でも、タバコが及ぼす健康への影響を重点事項と位置付けるとともに、県と一体となって、検討委員会の立ち上げやガイドラインの作成について検討してまいります。

問 ふれあいプラザ内子育て世代支援室「ねまーる広場」について、市民の利用案内などを行う窓口の設置等を検討していますが、今後市民ワークショップで協議されているアイデアも取り入れながら、子育て世代の方々が抱える不安や負担の軽減を図る場所にしていくと考えています。

議員：子育てメールマガジン配信 市長：他の方法で情報発信

問 子育て世帯に限定した「子育て支援情報メールマガジン配信」を。

答 ホームページやパンフレット・リーフレットなどで、正確で有益な情報の発信に、引き続き努めたいと考えています。



子育て世代支援室「ねまーる広場」

利用しやすい公民館に



久留嶋 範子 議員 (共産党議員団)
〔一問一答方式〕

新年度予算で修理をする予定です。

問 中央公民館の今後の活用は。

答 庁舎機能を持たせた活用を中心に考えているが、様々な提案があり、慎重かつ迅速に進めていきたい。

問 各公民館に対して、インターネット回線と

料を統一するなど、市民が活用しやすい環境整備を。

問 市民ふれあいプラザと地区公民館の使用

料を統一するなどの環境整備を。

問 使用料は利用者負担が原則だが、多くの団体が半額や全額の減免を受けている。冷暖房については、修理費用がかさむようになり、財産区などの援助で改修しているのが現状。冷暖房料金の徴収については、他の公共施設との整合性などを含めて検討していきたい。

問 地区公民館の老朽化が進んでいる。現状を把握して補修を進めるべき。

答 雪消えを待つて現状を調査したうえで、

新年度予算で修理をする予定です。

問 中央公民館の今後の活用は。

答 庁舎機能を持たせた活用を中心に考えているが、様々な提案があり、慎重かつ迅速に進めていきたい。

問 各公民館に対して、インターネット回線と料を統一するなど、市民が活用しやすい環境整備を。

議員：防災の再点検を 市長：管理体制を強化する

問 東日本大震災から5年。備蓄品などの点検、整備を行うべきではないか。

答 備蓄品は、県地域防災計画を基に主食、飲料水、毛布、暖房器具、衛生用品などを消費期限を考慮し、目標数量に合わせて在庫調整している。自家発電機は避難所などに32台を配置。作動確認など管理対応が統一されていない部分があり、点検を徹底するなど管理

体制を強化していく。
問 避難場所の確認は、新しいハザードマップ作成で周知を図っていく。



雨漏りした七日市公民館

Wi-Fiの整備促進を



武田 浩人 議員（緑風・公明）

〔一問一答方式〕

民間宿泊施設などへの観光資源の情報発信に導入を促し、魅力ある努めていきます。

議員：今後のふるさと納税は

市長：返礼品の充実に努める

問 ICTインフラの中でも災害に強く、観光振興のツールとしても有効な公衆無線LAN（Wi-Fi）の整備について伺います。

答 災害時にインターネットの通信利用が困難になっても、公衆無線LANは有効な通信手段であることから、避難所や地域での情報提供等に活用できるものと考えております。

また、観光振興の面からも重要と考えておりますので、特性に合わせた活用方法を検討していきます。

なお、今後は未設置の指定管理施設のほか、観光物産協会事務所や

問 ふるさと納税について、地元特産品のPR強化で「地産外商」を推進するため、特産品を拡大し、返礼品の更なる充実に努めます。

答 昨年度までは、ホームページやイベント等を通じてふるさと寄附金をお願いをしていましたが、今年度から「ふるさと納税ポータルサイト」との連携によるインターネットを通じて寄附申込の受付も行い、併せて複数の特産品から返礼品を選択できる仕組みを導入した結果、今年度の寄附件数及び金額は、前年度と比べて大幅に伸びています。

中には、同じ返礼品を目当てに再度のご寄

附される方も見受けられ、そうした意味から返礼品は地元特産品の振興及びPRの機会として、非常に効果が大きいと感じています。今後は、返礼品の発送等を依頼している市観光物産協会に協力をお願いしながら、品数の充実はもとより、返礼品ランクの細分化を含めた内容についても更に検討していきたいと考えています。



「地産外商」の推進を

第1回 全員協議会

指定管理者指定に理解を求める

第1回市議会全員協議会が、2月2日に本庁舎大会議室で開かれ、提出された案件を協議しました。

全員協議会では、マタギの里観光開発株の取締役会で経営改善計画が承認され、市に「経営改善計画書」が提出されたことから、その改善計画の内容や、指定管理者が決定されていない施設について説明がありました。



マタギの里観光開発株について協議

着実な経営改善で最後のチャンス

経営改善計画書の内容では、大きな4つの項目として、▽会社の現状、▽4つの課題への対応、▽具体的戦略、▽今後のスケジュールの説明を受けました。

また、指定管理者が決定していない施設として、▽熊牧場（くまくま園）、▽クウインス森吉、▽太湖グリーンハウスの3施設となり、それぞれ特殊性などの課題はあるが、当面は市直営や一部委託等で行う予定とのことでした。

臨時会に再提案の方針

当局からは、4月から1年間の指定管理者の指定を、現在、管理運営を行っている同社に改めて選定し、臨時会に再提案する方針を示して議会の理解を求めました。

賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

所属会派・議員氏名 採決結果 議案名	採決結果	緑風・公明				みらい					共産党 議員団		清和会		新創会			無会派			
		関口 正則	堀部 壽	武田 浩人	小笠原 寿	佐藤 光子	大森 光信	黒澤 芳彦	中嶋 洋子	庄司憲三郎	松橋 隆	板垣 淳	久留嶋 範子	三浦 倫美	吉田仁吉郎	山田 博康	長崎 克彦	佐藤 重光	佐藤 文信	松尾 秀一	福岡 由巳
【平成28年3月定例会／平成28年3月22日採決】 ※日程・採決順に掲載しています																					
[議案第33号]北秋田市公民館条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	●
[陳情第31号]軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	－	○
[意見書案第1号]軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、及びその危険性や予後の相談可能な窓口などの設置を求める意見書の提出	提出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	－	○
[陳情第34号]「平和安全保障関連法」の廃止を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	－	○
[継審陳情第29号]沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	－	●
[議案第21号]北秋田市介護予防・地域支え合い事業利用者負担金徴収条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	－	●
[議案第22号]北秋田市介護慰労金支給に関する条例の全部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	－	●
[議案第55号]平成28年度北秋田市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	－	●
[陳情第35号]若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	○	●	●	－	○
[継審陳情第27号]必要な医療・介護がうけられ、安心して暮らせる年金制度など「社会保障の充実を国に求める」意見書提出の陳情書	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	●	●	●	●	－	○
[継審陳情第28号]「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」の意見書を求める陳情書	採択	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
[意見書案第2号]「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」を求める意見書の提出	提出	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○
[陳情第36号]労働基準法関係解釈例規の一部改正を厚生労働省に要請することを求める陳情	不採択	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	－	●
[議案第34号]平成28年度一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	－	●

※全会一致の可決、採択については除いています。

※無記名投票の場合は、賛成・反対の票数を記載します。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、松尾秀一議長は採決には加わりません。

用語の解説

▼“継続審査”とは・・・

委員会に付託された案件について、当該会期中に審査が終了できず、議会閉会中も引き続き審査を行なうことをいいます。委員会が継続審査を求めるときは、本会議の議決が必要となります。

▼“趣旨採択”とは・・・

請願・陳情についての願意は妥当であるが、その実現性の面で確信が持てず、当分の間は不可能である場合等に、「趣旨には賛成である」という意味の議決のことをいいます。(※採択に近い)

第1回
臨時会

マタギの湯の指定管理者指定など可決

経営改善ラストチャンスの決意

平成28年第1回臨時会が2月16日に本庁舎議事堂で開かれ、一般職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定についての条例案1件、平成27年度一般会計補正予算（第4号）、各特別会計補正予算（第4号）、各特別会計補正予算など予算案10件、指定管理者指定の単行議案4件、専決処分承認2件と報告3件の計20件が提案され、全ての議案が原案のとおりそれぞれ承認、可決されました。

このうち、北秋田市一般会計補正予算（第4号）は、歳入歳出それぞれ2623万6千円を追加し、予算総額を229億2511万8千円とするものです。

歳入の主なものについては、人事院勧告等に伴う職員給与改正などが計上されました。

指定管理施設4件
賛成多数で可決

指定管理施設の、▽打当温泉マタギの湯、▽ふるさとセンター（マタギ資料館）、▽農業者健康



指定管理者は賛成多数で可決



管理施設、▽農林水産物直売・食材供給施設（道の駅あに）の4施設は、マタギの里観光開発株を指定するものとして12月定例会で提案されましたが、賛成者がなく否決されています。このたび、管理運営期間を平成28年4月1日から平成29年3月31日までの1年間として、現在、管理運営中の同社の指定を再提案されたものです。

議案に対しては、質疑のあとに反対・賛成討論が行われ、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。



賛否が分かれた議案等の表決状況

○：賛成 ●：反対 ▼：欠席もしくは退席 除：除斥

議案名	所属会派・議員氏名 採決結果	採決結果	緑風・公明				みらい					共産党 議員団		清和会		新創会		無会派				
			関口 正則	堀部 壽	武田 浩人	小笠原 寿	佐藤 光子	大森 光信	黒澤 芳彦	中嶋 洋子	庄司憲三 郎	松橋 隆	板垣 淳	久留嶋 範子	三浦 倫美	吉田仁吉 郎	山田 博康	長崎 克彦	佐藤 重光	佐藤 文信	松尾 秀一	福岡 由巳
【平成28年第1回臨時会／平成28年2月16日採決】																						
[議案第12号]北秋田市打当温泉マタギの湯の指定 管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	▼	○	○	○	－	●
[議案第13号]北秋田市ふるさとセンター（マタギ 資料館）の指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	▼	○	○	○	－	●
[議案第14号]北秋田市農業者健康管理施設の指定 管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	▼	○	○	○	－	●
[議案第15号]北秋田市農林水産物直売・食材供給 施設の指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	▼	○	○	○	－	●

※全会一致の可決、採決については除いています。

※無記名投票の場合は、賛成・反対の票数を記載します。

※議長は、過半数で議決すべき場合には、法第116条第2項で「議員として議決に加わる権利を有しない」とされているため、松尾秀一議長は採決には加わりません。

皆さまからの請願・陳情と意見書提出

件 名	請願・陳情者氏名	結果	意見書
[第31号]軽度外傷性脳損傷・脳しんとうの周知と予防、その危険性や予後の相談の出来る窓口などの設置を求める陳情	軽度外傷性脳損傷仲間の会 代長 藤 本 久美子	採 択	提 出
[第32号]労働時間と解雇の規制強化を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 泉 谷 みどり 秋田県労働組合総連合 議長 星 野 博 之	採 択	提 出
[第33号]全国一律最低賃金制度の実現をはじめ、最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める陳情	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 泉 谷 みどり 秋田県労働組合総連合 議長 星 野 博 之	採 択	提 出
[第34号]「平和安全保障関連法」の廃止を求める陳情書	秋田・戦争をさせない1000人委員会 代表 山 縣 稔	不採択	
[第35号]若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める陳情	全日本年金者組合 鷹巣阿仁支部 執行委員長 高 坂 豊 實	不採択	
[第36号]労働基準法関係解釈例規の一部改正を厚生労働省に要請することを求める陳情	日 美 大 昌	不採択	
[継審第27号]必要な医療・介護がうけられ、安心して暮らせる年金制度など「社会保障の充実を国に求める」意見書提出の陳情書	秋田県社会保障推進協議会 会長 渡 辺 淳	不採択	
[継審第28号]「介護従事者の勤務環境改善及び処遇改善の実現」の意見書を求める陳情書	秋田県医療労働組合連合会 執行委員長 泉 谷 みどり	採 択	提 出
[継審第29号]沖縄の米軍普天間飛行場代替施設建設の早期実現、沖縄米軍基地の整理縮小及び負担軽減を求める意見書の採択を求める陳情	名護市議会議員 宮 城 安 秀	趣旨採択	

秋田内陸縦貫鉄道
北秋田議員連盟

秋田内陸縦貫鉄道北秋田議員連盟（会長・松尾秀一議長）の定時総会及び研修会が3月24日、クウインス森吉で開催され、今後の内陸線の利活用などに向けて、活発な意見交換が行われました。

定時総会では、27年度の事業報告と収支決算報告、28年度の事業計画案と予算案が承認されました。

事業計画では、当市の「ふるさと納税」の事業使途目的に、公共交通の確保も具体的な使途となっていることから、内陸線は、高齢化が進む地域において交通弱者を守る公共交通として必要で、当市が重要施策とする交流人口の増加に資するとの位置付けから「内陸線支援」を追加するよう議員動議により提案され、賛成多数で可決されました。また、会長から市長に対して「要望書」を提出することとなりました。

終了後の研修会では、内陸線再生支援室から、27年度実績見込み及び今後の経営方針等の説

ふるさと納税に
「内陸線支援」を

明を受けました。内陸線は経常損失目標額を達成したものの、依然として厳しい経営状況が続いており、当会としても今後の乗車運動に向けた取り組みを行うこととしています。

また、秋田内陸線夢列車プロジェクト事務局の大穂耕一郎氏より、事業の目的とする車両購入の内容や募金活動の状況などの説明を受け、「夢列車プロジェクト」について理解を深めることができました。



内陸線の魅力や可能性を研修

『市民の声』



北秋田市立米内沢小学校
PTA会長

笠井 淳 さん(米内沢)

地域の皆様に支えられて

先日、わが母校である米内沢小学校は創立140周年を迎え、一つの節目を迎えました。私が在籍していた30年前と比べ、児童数は半分以上になりましたが、浦田小学校との統合を含め、新校舎での新たな学びが始まって、3年目を迎えることができました。

小学校生活は、一人ひとりの「ふるさと」であり、世界中のどこへ行つたとしても、「かけがえないふるさと」となるように、この先の10年、20年、そして30年

皆様の「声」を

募集します！

※市議会では、市民の皆様は議会への関心と、より身近で親しみをもつていただくような議会報の取り組みとして、「市民の声」を掲載しております。

また、開かれた議会を目指しておりますことから、皆様には議会の傍聴を議員一同、心よりお待ちしております。

後には、「親としての喜び」を実感できる場所となるよう、私たちの世代で地域を守り、後世につなげていかなければと考えております。

4月、不安よりも期待に胸を躍らせた新入生24名が入学してまいりました。今はまだランドセルの方が大きく感じる子どもたちを、温かく見守り、共に育ててくださる地域の皆様に大変感謝しております。

今後は、小学校間での更なる交流や、地域活動が行えるよう積極的にPTAとしての声を発信していきたいと考えております。

人事案件

教育委員会

委員の任命

◎教育委員会委員

佐藤 正俊 (再任)

固定資産評価

審査委員の選任

◎固定資産評価審査委員

梅井 繁司 (再任)
赤石 利法 (新任)

人権擁護委員

候補者の推薦

◎人権擁護委員

澤藤 茂子 (再任)

議会事務局

平成28年4月1日付、議会事務局職員は次のとおりです。

主査	副主査	主幹	副主幹	事務局長
平川 優子	野呂 康一	柳谷 重光	小坂 竜也	田村 義明

あとがき

選挙権年齢を現在の20歳以上から18歳以上に引き下げる公職選挙法の一部改正が、2015年6月に成立しました。これにより、18歳以上が一票を投ずることができるようになり、全国で約240万人が新たに主権者となります。当市では、約600人の該当者が見込まれます。その実施は、今年の6月以降からとなりますので、直近の参議院選挙で一票を投ずることになります。

若者の投票率が低迷する中で、18、19歳が積極的に投票するような環境づくりが大切であると思います。地元の高校では、模擬投票等を行い生徒への意識づけの取り組みをされているようです。

平成28年度当初予算が、244億9265万4千円とするこれまでにない大型予算として、少子高齢化や移住定住対策、そして産業振興等多岐に渡っておりますが、若者の声を社会や政治に反映させるためにも、それぞれ課題解決しながら、住民全体のために「議会報告会」の充実や、わかりやすい「議会だより」の発行を念頭において努力してまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

(吉田仁吉郎)

広報公聴特別委員会

各常任委員会の会場
総務文教 (合川庁舎)
市民福祉 (阿仁庁舎)
産業建設 (森吉庁舎)

委員長	副委員長	委員
福岡 由巳	久留嶋 範子	長崎 克彦
吉田仁吉郎	武田 浩人	三浦 倫美

次の定例会と各常任委員会は「6月」です市民の皆様はの傍聴をお待ちしています